

令和6年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間 最終)

呉市立明德中学校区 校番20 学校名 呉市立明德中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	授業改善の推進	① 主体的な学びを実現する授業づくり	指標①②ともに目標値を達成できているが、②については上半期が100%であったのに対して、下半期は96.9%と若干数値が落ちている。学習の見直しができている生徒が若干名いると思われる。	②について、どの生徒に対しても学習の見直しの重要性をしっかりと伝えていき、再度100%を達成できるようにしていく。
**	防災教育の深化と自己有用感の育成	① 自分の命は自分で守る力の育成 ② 個を大切にした支援の充実	指標①「避難する場所や仕方について理解していると考える生徒の割合」は、100%であった。 指標②「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合」は81.3%と昨年度の79%を上回っているものの、目標値には達していない。 指標③「自分にはよいところがあると思っている生徒の割合」は90.6%であった。	指標①、③については、同様の取組を工夫・改善していく。 指標②について、地域との関わりをさせるとともに、自分たちは何ができるかを考え、実行する、いわゆる課題発見解決型の学習を総合的な学習の時間を中心に計画的に組み込んでいく。
*	安心・安全な教育環境の整備	① 教職員による不祥事の根絶 ② 働き方改革の推進	指標①「日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合」は、上半期と同様の数値であり、目標値を達成できていない。 指標②「時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の数(3ヶ月平均)」についても、目標値を達成していない。上半期に引き続き、長時間勤務削減の意識の高まりは感じられるものの学校行事等が重なったことが大きく影響していると考えられる。	学校行事等の時期や内容を含め、取組の反省を生かした業務の見直しを進めていく必要がある。 「対話による風通しの良い職員室づくり」を基盤とし、主体的・積極的な意見交換を行い、チーム学校としてベクトルを揃えながら、さらなる改善を図る。